

令和 2 年度事業報告

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日



社会福祉
法 人

瀬戸内市社会福祉協議会

○ 福祉総務（邑久本所・牛窓支所・長船支所）

1. 地域福祉活動推進事業

（1）地域福祉活動等支援事業

① 福祉委員（制度）

小地域の福祉力の維持・向上を図ることを目的に、ふれあいサロンなど地域福祉活動への参加及び運営協力、社協広報誌の配布等を通じた見守り活動、社協会費・共同募金運動の協力など、市社協・地区社協と連携・協働を呼びかけた。

■福祉委員数

	牛窓町	邑久町	長船町	合 計
令和2年度	69名	209名	142名	420名
令和元年度	69名	208名	141名	418名

■福祉委員だよりの発行

2ヵ月に1回（せとうち社協通信と同時）発行し、福祉委員活動を行う上での役立つ情報を提供した。

② ふれあいサロン事業

身近な小地域の中で、住民同士が交流し、健康づくり・仲間づくり等を支援した。

地区名		実施サロン数 令和2年度	実施サロン数 平成元年度
牛窓町	牛窓地区	5	5
	鹿忍地区	6	6
	長浜地区	5	5
邑久町	邑久地区	7	7
	福田地区	4	5
	今城地区	2	2
	豊原地区	6	6
	本庄地区	0	0
	笠加地区	1	1
	玉津地区	0	0
裳掛地区	2	2	
長船町	美和地区	6	6
	国府地区	10	10（1）
	行幸地区	8	9
瀬戸内市全体		1	1
合 計		63	65（1）

※（ ）は内新規設置サロン数 瀬戸内市全体 1

※子育てサロン：3ヵ所（福田地区：1ヵ所、行幸地区：1ヵ所、瀬戸内市全体：1ヵ所）

サロン代表者連絡会

月 日	主 な 内 容
令和3年2月4日（木）	牛窓地区代表者連絡会（実施要項変更、補助金等の説明） 開催場所：牛窓町公民館

ベルマーク運動実施報告

寄附先		
牛窓東幼稚園	福田保育園	美和小学校
邑久幼稚園	今城保育園	国府小学校
邑久保育園	長船西保育園	
寄附数	ベルマーク：632枚	インクカートリッジ：189個

⑤ 手作りフラッグガーランド製作ボランティア活動（夏のボランティア体験代替事業）

例年、市内の中高生等を対象とし夏休み期間を利用したボランティア体験事業を行っていたが、今年は新型コロナウイルスの影響により中止となった。そこで、「お家に居てもつながることができる」「お家でできるボランティア活動」をテーマに、「手作りフラッグガーランド製作ボランティア活動」を行った。また、参加者は市内の中高生・大学生に留まらず、様々な方に参加していただいた。

手作りフラッグガーランド製作ボランティア活動 参加中学校・高等学校・大学等

学校名等			
牛窓中学校	2名	邑久高等学校	19名
邑久中学校	6名	瀬戸高等学校	4名
長船中学校	12名	就実高等学校	3名
中国短期大学	1名	岡山学芸館高等学校	2名
その他（市外学生・社会人）	6名	東岡山工業高等学校	1名
		備前緑陽高等学校	1名
合計：	10校	参加人数：	57名

⑥ 福祉協力校との連携及び協働

市内の各園・学校において、園児・生徒が様々な体験を通して福祉の心を育むことができるよう支援した。

助成金額（こども園・保育園・幼稚園：各2万円、小・中・高等学校：各3万円）

牛窓町	・保育園：ルンビニ・あいあい ・幼稚園：牛窓東 ・小学校：牛窓東・牛窓西・牛窓北 ・中学校：牛窓	(2カ所) (1カ所) (3カ所) (1カ所)
邑久町	・こども園：裳掛 ・保育園：邑久・福田・今城 ・幼稚園：邑久・今城 ・小学校：邑久・今城・裳掛 ・中学校：邑久 ・高等学校：邑久	(1カ所) (3カ所) (2カ所) (3カ所) (1カ所) (1カ所)
長船町	・こども園：長船ちとせ ・保育園：長船東・長船西 ・幼稚園：国府・行幸 ・小学校：美和・国府・行幸 ・中学校：長船	(1カ所) (2カ所) (2カ所) (3カ所) (1カ所)

⑦ 地域福祉出張支援講座

市内小学校を中心に車いすや高齢者疑似体験セット等を使用し、実際に声の掛け方や支援方法等について授業を実施した。

月 日	学校名	内 容	
6月24日(水)	行幸小学校	車いす体験	職員による出前講座
10月14日(水)	邑久高校	車いす体験	職員による出前講座
10月22日(木)	邑久中学校	車いす体験	職員による出前講座
10月23日(金)	邑久中学校	車いす体験	職員による出前講座
11月10日(火)	行幸小学校	高齢者疑似体験	職員による出前講座
11月11日(水)	行幸小学校	高齢者疑似体験	職員による出前講座
2月17日(水)	行幸小学校	福祉授業(支える側の気持ち)	職員・講師による出前講座
3月 4日(木)	牛窓西小学校	車いす・アイマスク・白杖・点字体験	職員による出前講座

⑧ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の開催

昨年に引き続き、昨今の異常気象による災害や地震など突発的に発生する災害に備え、本会でも職員や市民が協力し、設置運営ができるよう訓練を実施した。

開催日時	令和2年6月6日(土) 9:00 ~ 13:00
会 場	瀬戸内市総合福祉センター
講 師	森本 智喜 氏 (日野ボランティア・ネットワーク)
概 要	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症を考慮し、本会職員向けに実施し、見学者として行政職員等を招いた。</p> <p>本会会長及び職員：33名 その他見学者：5名</p> <p>初めに「災害時の職員行動」を講義形式で学び、その後瀬戸内市総合福祉センターに隣接する駐車場にて「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」を実施、最後に振り返りを行った。</p>

⑨ 各種福祉団体及び当事者団体等支援

当事者団体の自立した運営を側面から支援した。

⑩ 日常生活用具貸出事業

車イス貸出し台数(出前講座含む)： 23台 (令和元年度は41台)

⑪ 社会福祉士養成ソーシャルワーク実習生の受け入れ

大学名	人数	受入期間
岡山県立大学	1人	15日間
日本総合研究所	1人	21日間

(2) 地域生活支援事業 (*受託事業：①～②)

① 日常生活自立支援事業(岡山県社協からの受託事業)

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方に対し、生活支援員の協力を得て、福祉サービスの利用や日常生活に必要な金銭の管理を行った。

現在の利用状況（単位：名）

	牛窓	邑久	長船	合計
利用者	1	5	3	9
支援員	4	2	1	7

② 生活福祉資金貸付事業（岡山県社協からの受託事業）

低所得世帯・障がい者世帯等に対する資金貸付事業の相談窓口業務、申込書の受付、償還指導等を行った。また、新型コロナウイルスにより収入減少や失業した世帯に対して特例貸付の相談窓口業務、申込書の受付等を行った。

通例の貸付

		牛窓	邑久	長船	合計
新規借入者	生活福祉資金（小口含む）	0	0	0	0
	総合支援資金	0	0	0	
償還期間中	生活福祉資金（小口含む）	4	1	5	13
	総合支援資金	1	0	2	
合計		5	1	7	13

新型コロナウイルスによる特例貸付（相談延べ件数）

		合計
新規借入者	緊急小口資金	302
	総合支援資金（延長・再貸付含む）	338
合計		640

※ 据置期間延長により償還開始は令和4年4月以降

③ 緊急援護資金貸付事業（市社協独自事業）

生計の維持が一時的に困難で窮迫した状況にある生活困窮者に対し、本資金を貸し付け、その世帯の福祉の増進及び自立の促進を図ることを目的として実施した。

	牛窓	邑久	長船	合計
新規借入者	0	1	4	5
償還期間中	0	0	1	1

④ 法人後見事業

市民後見人と共に成年後見人等に就任し、認知症高齢者や知的・精神障害者等の財産管理・身上監護業務を行った。

■受任状況（単位：名）

	牛窓	邑久	長船	その他	合計
受任件数	0（4）	1（4）	0（1）	0（1）	1（10）

（ ）内の数字は前年度までの受任件数と合せた合計件数

※令和2年度末の受任件数は7件

（3）広報活動事業

① 広報誌発行事業

市民の方々に、本会が取り組む様々な地域福祉活動についてより一層理解を深めてもらうため社協通信を年6回偶数月に発行。

また、ホームページをリニューアルし、スマートフォンやタブレット端末からも見やすいように改良。中断していたSNSでの情報発信を再開した。

(4) 共同募金事業

① 瀬戸内市共同募金委員会運営支援事業

中央共同募金会から示された「募金活動実施にあたってのガイドライン」に沿って、各種募金活動を実施した。

■令和2年度目標額：6,400,000円

	牛窓町		邑久町		長船町		合計	
	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数
戸別募金	840,877	1,726	2,303,100	4,600	1,464,770	2,987	4,608,747	9,313
街頭募金			46,280	5			46,280	5
法人募金	278,000	62	450,000	79	305,500	85	1,033,500	226
学校募金			88,566	15			88,566	15
職域募金			554,700	87			554,700	87
イベント募金			14,434	3			14,434	3
その他募金	1,000	1	46,081	34			47,081	35
合計	1,119,877	1,789	3,503,161	4,823	1,770,270	3,072	6,393,308	9,684

② 災害義援金・支援金の募集

- ・令和2年7月豪雨災害義援金(山形県、長野県、岐阜県、島根県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県) : 19,165円
- ・令和2年7月3日からの大雨による災害に伴うボランティア・NPO活動サポート募金 : 6,700円

(5) 共助の基盤づくり事業(*受託事業)

① マスクバンク(生活支援コーディネーターと連携で実施)

コロナ禍初期のマスク不足・不要不急の外出自粛の際“誰かの役に立ちたい気持ち”を形にし、お互いに思いやり、みんなでこの局面を乗り越えるためマスクバンクを実施した。手作りマスクの作成ボランティアを募集し、マスクを必要とする団体・個人に届けた。

《ボランティア》

更生保護女性会、まどっこまんと、天理教岡山教区東部支部他、有志の皆様

《寄付した個人・団体》

市内3中学校、市内薬局、瀬戸内市民病院他、マスクが必要な方(約760枚)

② 生活支援サポーター登録者の活動調整

■生活支援サポーター支援実績

支援内容	支援調整件数	延べ支援件数
話し相手・見守り	3	14

③ みんなで支えあうまちづくりフォーラム

開催日：令和3年2月13日(土)

場所：瀬戸内市保健福祉センター ゆめトピア長船 大ホール

内容：基調講演「コロナに負けないまちづくり」

講師 近所福祉クリエイター 酒井保氏

実践発表「再開している身近な活動から学ぶ」

社協説明「コロナ禍における『通いの場』の現状」

富岡ふれあい会「サロンの成り立ちから現状(コロナ禍)での活動」

裳掛地区コミュニティ協議会「これまでの活動とこれからの継続について」

参加人数：146人

(6) 移動子どもひろば推進事業 (*受託事業)

① 瀬戸内市子どもひろば推進事業

安心して子どもを産み、育てることができる地域づくり、人づくりの基盤を作ることを目的に、市内の公園や子ども園・保育園・幼稚園等で開催した。

・外遊びを通じた「子どもひろば」の開催回数

月	回数	左記の内 地域主体 の回数	参加した 市民の人数	子育て世代 親子組数	ボランティ ア的人数	備考
令和2年 4～7月	0回	0回	0名	0組	0名	新型コロナウイルス感染症 の影響により開催を自粛
8月	2回	0回	79名	24組	14名	
9月	4回	1回	326名	54組	12名	
10月	13回	1回	676名	84組	9名	
11月	14回	2回	624名	126組	13名	
12月	10回	2回	372名	63組	34名	
令和3年 1月	14回	10回	334名	63組	9名	
2月	5回	0回	159名	17組	0名	
3月	11回	3回	270名	44組	35名	
合計	73回	19回	2,840名	475組	126名	合計73回の内、 地域主体は19回開催した

○場所別参加者一覧○

(単位:名)

開催場所	子ども園・保育園	幼稚園	子育て支援センター	放課後児童クラブ	行政管轄区域	小・中・高等学校	企業敷地	福祉施設	自治公民館	コミュニティセンター	スポーツ公園	児童遊園	地域公園	お寺・神社	海辺・山・田んぼ	その他	合計
参加者保護者	56	93	100	0	26	0	63	0	0	70	27	0	0	0	76	31	542
参加者子ども	1,179	193	333	15	21	47	99	52	0	66	44	0	0	0	106	36	2,191
ボランティア	4	20	0	0	6	15	23	0	0	6	22	0	0	0	25	5	126
見学者・その他	27	2	0	0	20	8	3	0	0	20	22	0	0	0	5	0	107
職員	233	45	96	6	20	14	25	41	0	26	20	0	0	0	17	15	558
合計	1,499	353	529	21	93	84	213	93	0	188	135	0	0	0	229	87	3,524

※「見学者・その他」とは、地域住民で立ち寄ってくださった方、取材等にいられた方。

※「職員」とは、市子ども政策課及び本会職員、依頼先の保育士・教員等を含めている。

開催場所		こども園・保育園	幼稚園	子育て支援センター	放課後児童クラブ	行政管轄区域	小・中・高等学校	企業敷地	福祉施設	自治公民館	コミュニティセンター	スポーツ公園	児童遊園	地域公園	お寺・神社	海辺・山・田んぼ	その他	合計	
移動遊び場「こどもひろば」開催回数	牛窓町	牛窓	2	1	2	0	1	0	2	4	0	0	0	0	0	1	1	14	
		鹿忍	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
		長浜	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	
	邑久町	邑久	7	1	6	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	21
		福田	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
		今城	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		豊原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		本庄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
		笠加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		玉津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		裳掛	5	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9
	長船町	美和	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		国府	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
		行幸	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	合計		23	6	11	1	5	2	4	5	0	6	3	0	0	0	4	3	73
	地域主体のみ合計		1	1	0	0	3	2	3	0	0	6	0	0	0	0	2	1	19

② プレーカー管理運営事業

車体を黄色に塗装し、屋根に「瀬戸内市こどもひろば」の看板を設置した移動遊び場「プレーカー」を準備した。また、車に外遊び道具を積載し、安全に運行した。

2. 法人運営・総務等事業

(1) 法人運営

① 法人運営

理事会、評議員会の定期開催、及び評議員選任解任委員会を適宜開催し、法人の円滑な運営に努めた。

② 地域における公益的な取組

令和元年6月から市内社会福祉法人(13法人)が定期的に検討を行い、「瀬戸内市社会福祉法人等地域貢献活動推進協議会」(ささえ愛ネットせとうち)が設立された。

今後は、各専門分野(児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉)を活かしながら、既存の制度だけでは対応しきれない地域の多様な福祉課題に柔軟に対応するためのネットワークを形成し、「地域における公益的な取組」を検討・実施していく。

日 程	内 容
令和2年 6月24日	第4回 瀬戸内市社会福祉法人等地域貢献活動推進協議会の設立に向けた意見交換会
9月29日	瀬戸内市社会福祉法人等地域貢献活動推進協議会（ささえ愛ネットせとうち）設立総会
12月4日	第1回くらしサポート事業部会（内容：個別支援を中心に協議）
12月10日	第1回地域サポート事業部会（内容：地域支援を中心に協議）
令和3年 2月1日	第2回くらしサポート事業部会（内容：フードドライブ事業について協議）
2月12日	第2回地域サポート事業部会（内容：居場所づくり応援備品貸出事業について協議）
3月22日	第1回 瀬戸内市社会福祉法人等地域貢献活動推進協議会役員会

（2）総務・庶務・経理

① 福祉センター運営管理

新型コロナウイルス感染防止の為、一時的な貸館休止、消毒液の設置、相談スペースのアクリル板設置、使用後の消毒等を行った。（感染防止対策の経費に岡山県新しい生活様式実践事業者補助金を受けた）

② 社協バス運行管理

年度当初はコロナ禍の為運行を中止。11月下旬から利用定員（8～12人）等に制限を設けて運行を再開した。

	サロン	団 体	地区社協	社協事業	市行政	合 計
令和2年度	1	0	0	0	0	1
令和元年度	45	14	13	3	1	76

③ 社協会員会費

コロナ禍を考慮して、会員会費募集期間を11月末まで延長して協力依頼した。

	普通会員会費	特別会員会費	合計
令和2年度	8,714,000円	1,185,000円	9,899,000円
令和元年度	8,972,000円	1,360,000円	10,332,000円

○ 地域包括（瀬戸内市地域包括支援センター） ※受託事業

（1）総合相談・支援事業

目 的：高齢者及び家族が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活をできるだけ継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における各種社会資源へのつなぎや適切なサービス・制度の利用支援、関係機関との連絡調整等を行うことを目的とします。

実施項目

- ◇高齢者総合相談窓口／実態把握訪問等
- ◇地域包括支援ネットワーク構築

事業実績等

新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されましたが、相談対応件数は前年度より若干ながら増加しており、訪問対応についても対策を取りつつ行うことで大きな影響はありませんでした。

《総合相談対応件数 ※延件数》 ※ブランチ事業所の活動実績を含む

月	合計件数	内 訳			
		来所	電話	訪問	その他
4月	508	36	259	186	27
5月	453	47	241	144	21
6月	567	65	284	172	46
7月	630	58	353	178	41
8月	538	55	283	162	38
9月	513	40	275	172	26
10月	567	48	300	186	33
11月	488	43	261	146	38
12月	457	41	240	138	38
1月	496	27	298	137	34
2月	523	29	330	136	28
3月	652	43	403	169	37
合計	6,392	532	3,527	1,926	407

《相談内容別対応件数 ※延件数》

※内容重複有

介護相談	福祉相談	介護予防	認知症	健康相談	虐待・権利擁護	その他
2,289	540	905	1,188	946	553	749

(2) 権利擁護事業

目 的：さまざまな場面において、権利侵害を受けている、又は受ける可能性が高いと考えられる高齢者が、地域で安心して尊厳ある生活を行うことができるよう、予防や対応を専門的に行うことを目的とします。

実施項目

- ◇高齢者虐待の防止及び対応
- ◇消費被害の防止及び対応
- ◇判断力に不安のある方や権利擁護を必要とする方への支援

事業実績等

《内容別対応件数 ※延件数》

成年後見制度活用の促進	日常生活自立支援事業の利用支援	老人福祉施設等措置支援	高齢者虐待への対応	介護保険による契約入所等の支援	消費者被害防止	その他の支援
159	70	16	168	1	11	46

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

目 的：地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントが提供できるよう、地域の基盤を整えるとともに、個々の介護支援専門員等へのサポートを行うことを目的とします。

実施項目

- ◇包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備
- ◇個々の介護支援専門員等へのサポート体制整備

事業実績等

《介護支援専門員等に対する個別相談支援件数 ※延件数》 610件

新型コロナウイルス感染拡大地域との往来のある家族がいる場合、一部介護サービスの利用制限等の状況が見られました。そのため、市内の居宅介護支援事業所等からの相談の増加も想定されましたが、特に大きな影響は見られませんでした。

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

目的: 介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、従来の要支援認定の枠にとらわれず、日常生活に支援の必要な高齢者の心身の状況や環境等に応じて、自立した生活を送ることができるよう総合的に支援を行うことを目的とします。

実施項目

- ◇地域ケア個別会議の実施
- ◇指定介護予防支援
- ◇介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援）
- ◇一般高齢者の介護予防活動への参加促進等

事業実績等

《地域ケア個別会議実施状況》

月日	件数	内容等
4月16日	1件	【検討ケース】 利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送るために、必要な介護保険サービスやボランティア等の社会資源の導入の妥当性について、ケアプラン原案を基に検討しました。 ◇主に以下のケースについて検討 ・従前の予防給付相当のデイサービスの新規利用の必要性 ・自立支援に向けたケース検討・課題整理
4月23日	2件	
5月14日	1件	
5月21日	3件	
6月11日	2件	
6月18日	1件	
7月16日	1件	
8月20日	1件	
9月10日	1件	
9月17日	1件	
10月15日	2件	【会議構成員】 いきいき長寿課・健康づくり推進課管理栄養士・市民病院理学療法士・岡山県薬剤師会瀬戸内支部 薬剤師・包括・生活支援コーディネーター ※ケースにより、健康づくり推進課保健師（メンタル担当）
10月22日	3件	
11月12日	1件	
11月19日	1件	
12月17日	1件	
12月24日	1件	
1月14日	1件	
1月21日	1件	
2月18日	1件	
3月11日	1件	
3月18日	1件	

※介護予防・日常生活支援総合事業等の充実のための厚生労働省職員派遣事業（令和2年度のみ）

◇地域ケア個別会議について、厚生労働省・地方厚生局・県より、瀬戸内市いきいき長寿課を通じて伴走的支援として多くのアドバイスをいただきました。

事前打ち合わせ（一部Webにて実施）（8/28～）

実践力UP事例検討会の実施

地域ケア個別会議の県職員視察（10/15）

地域ケア個別会議の厚生労働省職員視察（12/24）※新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止
振り返り会議

厚生労働省・地方厚生局・県・市・包括のWeb会議（2/8）

《指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施状況》 ※（ ）内委託分

月	プラン作成 合計件数	予防給付を含む 利用の件数	※総合事業のみ 利用の件数
4月	355 (64)	306 (58)	49 (6)
5月	351 (65)	303 (59)	48 (6)
6月	348 (62)	298 (55)	50 (7)
7月	352 (66)	301 (56)	51 (10)
8月	344 (64)	296 (55)	48 (9)
9月	349 (65)	300 (56)	49 (9)
10月	357 (68)	304 (60)	53 (8)
11月	362 (70)	311 (64)	51 (6)
12月	366 (69)	314 (62)	52 (7)
1月	371 (72)	321 (65)	50 (7)
2月	364 (69)	318 (64)	46 (5)
3月	362 (70)	316 (64)	46 (6)
合計	4,281 (804)	3,688 (718)	593 (86)

※当該月のサービス利用が総合事業（デイ・ヘルパー）のみであった場合の件数
例）デイと福祉用具レンタルの場合は従来どおり予防給付での介護予防支援になる

(5) 認知症総合支援事業

目的：今後さらに認知症高齢者の増加が見込まれる現状に対し、各種事業を実施し適切な対応が図れるよう体制整備を行うとともに、地域で支え合うネットワークづくりを目指します。なお、事業実施にあたっては認知症地域支援推進員研修受講職員を中心に、市担当課との協働により推進します。

実施項目

- ◇啓発活動及び理解促進
- ◇当事者支援活動
- ◇ネットワークづくり他

事業実績等

《啓発・理解促進の実施状況》

① 認知症サポーター養成講座

月 日	団体名等	人 数
6月12日	裳掛小学校 5年生	コロナのため中止
10月16日	笠加地区小地域ケア会議	21名
10月26日	邑久中学校3年生	123名
10月30日	豊原地区小地域ケア会議	13名
11月20日	行幸小学校 4年生	60名
12月2日	牛窓北小学校 4年生	8名
12月8日	長船中学校 2年生	103名
2月12日	瀬戸内市老人クラブ連合会 長船支部	60名

認知症サポーター数 3,611名（延人数）

② 認知症サポーターフォローアップ講座

月 日	団体名等	人 数
3月1日	映画上映・座談会	15名

③ 認知症キャラバンメイト連絡会

月 日	団体名等	人 数
11月17日	・キャラバン・メイト自己紹介 ・瀬戸内市認知症事業紹介 ・キャラバン・メイトグッズの提案	18名

キャラバンメイト登録者数 53名

《当事者支援活動の実施状況》

④ 認知症介護家族の交流会

感染症予防対策を講じたうえで7月より再開

月 日	内 容	人 数
5月12日	中 止	—
7月7日	座談会・関連書籍DVD紹介	4名
9月1日	座談会・個人賠償保険紹介等	11名
11月10日	座談会	6名
1月12日	座談会	4名
3月2日	おしえて！上月先生！ 講師：西大寺綜合法律事務所 上月弁護士	12名

⑤ 認知症カフェ『つくしカフェ』

ボランティア『せとうちつくし隊』の協力により開催

人数と会場の広さを考慮し、大会議室にて席配置と内容を変更して8月より再開

月 日	内 容	人 数
4月7日	中 止	—
6月2日	中 止	—
8月4日	茶話会・大正琴演奏鑑賞	19名
10月6日	健康講座	31名
12月1日	音楽鑑賞	16名
2月2日	茶話会・手芸	15名

特養せとうちで行われる『喫茶せとうち』は今年度開催見送り

⑥ 認知症高齢者徘徊模擬訓練

月 日	内容・実施地域	人 数
12月14日	豊原地区小地域ケア会議 『認知症サポーター養成講座で学んだことを実践しよう!』	21名
12月18日	笠加地区小地域ケア会議 『認知症高齢者への声掛け方や対応について学ぼう！ —見守り声かけ訓練—』	28名
1月20日	老人クラブ牛窓支部 『もし身近な人が認知症になったら』	110名

⑦ 認知症初期集中支援チーム員会議への出席（トータルサポートセンター主催・月1回開催・2名出席）

トータルサポートセンターの体制変更に伴い、今年度より1名がチーム員として事業に携わっています。

(6) 生活支援体制整備事業

目 的：介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化及び社会参加の促進を一体的に図るために、生活支援コーディネーターを配置し、以下の業務を行います。

実施項目

◇高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備推進 ◇協議体との連携

事業実績等

《生活支援・介護予防サービスの体制整備状況》

① 体操を中心とした通いの場づくり（はつらつ教室の立ち上げ・OB会支援）

緊急事態宣言下で活動の自粛を要請した。その後宣言解除後は感染予防策について各会場に説明に回り、徐々に活動を再開している。また、自粛期間中は各個人が自宅で取り組める体操や取り組み内容をチェックできるシートの配布等を行いました。

令和3年3月時点で活動を再開しているOB会会場数：101か所中94か所

また、前年度末時点で教室開催中であった教室（4教室）は、再開に向けて代表者と調整し、10月から順次3教室が再開し、修了してOB会としてスタートしています。

② 介護予防リーダー養成研修・アフター研修への協力（市いきいき長寿課主催）

予定していた養成研修（第7期）及び修了者へのアフターフォロー研修については今年度は中止となったが、アンケートを実施し、その結果も踏まえて次年度に向けて『お久しぶり会』を10月に実施しています。

③ 出前講座・啓発活動

上半期は実施できていません。

<下半期>

- ・令和3年2月10日 国塩サロン会 肩こり予防体操指導 参加数16名
- ・令和3年2月18日 行幸小4年生・障害福祉を学ぶ授業 筋ドコ体操紹介 参加数80名
- ・令和3年3月24日 浜区サロン会 肩こり予防体操指導 参加数12名

○ 障害者計画相談支援事業所

（1）指定特定相談支援事業

目的：障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、障がい者の選択に基づき適切な障害福祉サービス等が、多様な事業所から総合的かつ効率的に提供されるよう支援します。

支援内容

- ◇生活全般に関する相談
- ◇地域の障害福祉サービス事業者等の情報提供
- ◇サービス等利用計画の作成
- ◇訪問によるモニタリング
- ◇その他必要な相談支援、助言等

《指定特定相談支援の実施状況》

月	新規担当件数	継続担当件数	合計担当件数
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	1件	0件	1件
10月	0件	1件	1件
11月	0件	1件	1件
12月	2件	1件	3件
1月	1件	3件	4件
2月	0件	4件	4件
3月	2件	4件	6件

1. 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営に係る業務

① 運営委員会の開催

	月 日	内 容
第1回	6月24日(水)	当市における中核機関の設置について/令和元年度事業報告並びに決算報告等
第2回	3月24日(水)	中核機関の設置後の取り組みについて/令和2年度市民後見人バンク登録者の推薦/令和3年度市民後見人養成の必要性の有無と必要人数/令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)

② 支援検討委員会の開催

	日 時	内 容
第1回	7月22日(水)	新規1件 ・生活困窮者世帯への支援について
第2回	8月26日(水)	新規1件 ・高齢者虐待案件の虐待認定及び措置分離の妥当性について
第3回	9月23日(水)	継続2件 ・高齢者虐待ケースの経過報告 ・被保佐人(認知症高齢者)の居所の選定について
第4回	10月28日(水)	継続1件 ・高齢者虐待ケースの経過報告 新規1件 ・身寄りのいない認知症高齢者の成年後見制度申立支援(市長申立)
第5回	11月25日(水)	新規1件 ・知的障害者の成年後見制度申立支援
第6回	12月23日(水)	新規2件 ・成年後見制度を利用している精神障害者と同居する兄への対応について ・犯罪被害に巻き込まれる知的障害者の成年後見制度申立支援
第7回	1月27日(水)	・社協法人後見事業の現状と課題について(法人後見運営委員会)
第8回	2月24日(水)	継続1件 ・娘と共依存関係にある被後見人の支援について

※4月、6月の支援検討委員会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。

③ 権利擁護事例研究会の開催

	日 時	内 容
第1回	4月8日(金)	本年度の研究会実施等に係る関係者打ち合わせ
第2回	7月1日(金)	コロナ禍における今後の研究会実施等に係る関係者打ち合わせ
第3回	8月5日(水)	ミニ講義:「生活困窮」状態の人びとに対して、私たちは何を知り、何を実践すればよいのか?(新名アドバイザー)
第4回	9月2日(水)	ミニ講義:成年後見制度の申立(導入)のタイミング(守田アドバイザー)
第5回	10月7日(水)	ミニ講義:成年後見人等の意思決定支援に関するガイドラインの解説(竹内アドバイザー)
第6回	11月4日(水)	ミニ講義「瀬戸内市権利擁護センターの取り組みについて」(瀬戸内市権利擁護センター)
第7回	12月2日(水)	ミニ講義「地域包括支援センターの業務紹介」(瀬戸内市地域包括支援センター)
第8回	1月6日(水)	事例研究:複合的な問題を抱える独居高齢者の支援
第9回	2月3日(水)	事例研究:問題行動のある知的障害者の支援
第10回	3月3日(水)	事例研究:周囲に不信感のある障害児の世帯支援

※5月、6月の事例研究会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。

④ 障がい者権利擁護研修会

※コロナウイルス感染拡大防止の為、未実施。なお、次年度の研修会開催に向けて市内の各事業所にアンケート調査（希望する研修内容等）を実施した。

⑤ 高齢者・障がい者生活なんでも相談会（くらしの困りごと相談会）

（第1回）日 時：10月17日（土）

場 所：瀬戸内市総合福祉センター

相談員：地元士業及び権利擁護アドバイザー（弁護士、司法書士、社会福祉士、行政書士、税理士、社会保険労務士、土地家屋調査士）

いきいき長寿課、地域生活支援センタースマイル、社協地域福祉係、地域包括支援センター、生活相談支援センター、権利擁護センター

相談件数：14件

（第2回）日 時：3月13日（土）

場 所：瀬戸内市総合福祉センター

相談員：地元士業及び権利擁護アドバイザー（弁護士、司法書士、社会福祉士、行政書士、税理士、社会保険労務士、土地家屋調査士）

いきいき長寿課、地域生活支援センタースマイル、社協地域福祉係、地域包括支援センター、生活相談支援センター、権利擁護センター

相談件数：20件

⑥ 権利擁護に関するワンストップ相談窓口業務

受付件数・支援回数

月	新規件数（実数）	継続件数（実数）	支援回数
4月	4	14	126
5月	6	12	83
6月	6	12	90
7月	16	5	95
8月	5	11	106
9月	17	10	282
10月	7	14	112
11月	6	14	132
12月	6	12	156
1月	4	11	121
2月	8	9	94
3月	4	9	102
合計	89	133 [㊤]	1499

今年度月平均	7.4	11.1	124.9
前年度月平均	5.2	10.7	132.4

※継続件数の合計件数は相談対象者の重複あり。

相談内容

月	虐待	DV	成年後見制度	介護問題	金銭問題	入院・入所問題	消費者被害	その他	月合計
4月	17	0	92	3	12	0	0	2	126
5月	17	0	48	2	14	2	0	0	83
6月	7	0	67	0	8	3	0	5	90
7月	16	0	49	0	26	3	0	1	95
8月	39	1	44	0	19	3	0	0	106
9月	45	49	124	0	31	18	0	15	282
10月	23	1	87	0	0	0	0	1	112
11月	20	0	95	0	6	6	0	5	132
12月	24	0	72	0	40	0	2	18	156
1月	28	0	75	0	0	0	0	18	121
2月	23	0	42	0	3	0	0	26	94
3月	30	0	66	0	0	0	0	6	102
合計	289	51	861	5	159	35	2	97	1499

支援内容・回数

月	訪問	電話	来所	メール	ケース会議	経過報告	経過報告付随相談	所内会議	AD相談	その他	月合計
4月	13	26	3	0	7	36	38	0	3	0	126
5月	11	17	6	0	3	2	39	4	1	0	83
6月	7	14	2	0	5	8	53	1	0	0	90
7月	7	22	2	0	10	3	38	4	9	0	95
8月	6	12	4	0	18	15	46	4	0	1	106
9月	12	12	9	0	21	66	142	7	13	0	282
10月	10	15	1	0	10	16	58	1	1	0	112
11月	6	10	7	0	19	48	37	1	4	0	132
12月	12	19	4	0	17	42	44	9	9	0	156
1月	11	24	7	0	7	37	31	4	0	0	121
2月	8	14	1	0	9	27	21	6	8	0	94
3月	10	18	7	0	5	29	26	2	4	1	102
合計	113	203	53	0	131	329	573	43	52	2	1499

(2) 虐待対応業務

・虐待対応実績

相談件数	虐待認定件数 (実数)	直接的対応 (訪問・電話・来所等)	間接的対応 (連絡調整・会議等)	終結 件数
29 (内 11 件前年度継続)	8	83	130	10

(3) 成年後見業務

・成年後見制度利用支援実績

相談件数	直接的対応 (訪問・電話・来所等)	間接的対応 (連絡調整・会議等)	申立件数
43 (内10件前年度継続)	185	304	8

3. 市民後見推進事業

(1) 市民後見推進業務

① 市民後見人養成事業

開催日	内容	備考
6月下旬～7月下旬	市民後見人養成研修について周知 ・社協広報誌等で市民後見人について記事を掲載	※事前説明会は新型コロナウイルスの関係で中止
8月26日(水)	選考会(書類審査・面接)	4名申込み(4名受講決定)
10月8日(日) ～12月13日(日)	岡山県 主催講座(7日間)	
1月14日(木) ～2月19日(金)	瀬戸内市 主催講座(3日間)	見学実習、面談同行、 講義実習
2月24日(水)	バンク登録意向確認面接	4名バンク登録意向確認
3月24日(水)	権利擁護センター運営委員会	4名を市へ推薦

市民後見人バンク登録者数：13名(内、受任・活動者数：6名)

※上記に令和2年度養成者4名が新たにバンク登録することとなる。

② 市民後見人バンク登録者へのフォローアップ研修

回数	開催日時	内容	備考
第1回	10月9日(金)	情報交換会	5名出席
第2回	12月18日(金)	講義「後見業務に係る死後事務への備え、終活、 死後の対応について」 (講師：新名社会福祉士)	4名出席
第3回	3月18日(木)	事例報告 ・市民後見人2名より活動報告 アドバイザー 守田司法書士	6名出席

※上半期開催分については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

③ 市民後見人普及セミナー

日時：3月23日(火)

場所：瀬戸内市総合福祉センター2階 大会議室

内容：①講義「今すぐ解決！困らない終活のススメ！」

講師：行政書士・櫻田章人氏

②市民後見人の活動報告

発表：市民後見人2名

参加者：31名

○ 生活相談 (瀬戸内市生活相談支援センター) ※受託事業

生活相談支援センターでは、生活困窮者が抱える多様で複合的な相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、自立支援計画(プラン)の作成等の支援を各関係機関と連携を図りながら、一体的かつ計画的に実施し、「生活困窮者の自立の促進」、「生活困窮者支援を通じた地域づくり」を目的に事業を実施しています。

1. 自立相談支援事業、家計改善支援事業の実施

① 相談事業実績

《相談実績(実数)》

月	新規相談受付件数	自立支援計画(プラン)作成件数	
		自立相談支援事業による就労支援	家計改善支援事業
4月	33	1	3
5月	29	—	—
6月	24	—	3
7月	22	—	—
8月	8	—	3
9月	17	—	—
10月	20	—	2
11月	22	—	—
12月	23	2	2
1月	9	—	—
2月	22	—	2
3月	26	—	—
計	255	3	15

※自立支援計画(プラン)作成件数は、再プラン件数を含む

《相談内容(延数)》

相談内容別 件数	収入・生活費	税金・公共料金の支払い	家賃・ローンの支払い
	218件	42件	51件
	生活福祉資金	債務について	病気・障がい
	176件	68件	36件
	仕事探し・就職	仕事上の不安やトラブル	子育てについて
	37件	33件	5件
	家族関係	DV・虐待	介護
	11件	2件	6件
	ひきこもり・不登校	地域との関係	食べる物がない
	7件	2件	10件
	住まい	その他	
29件	10件		

計 748 件

《支援内容(延数)》

支援内容別 件数	来所	電話	訪問・同行支援	所内会議
	567件	921件	236件	595件
	支援調整会議 (プラン策定・評価)	他機関との会議 (支援調整会議除く)	他機関への 電話照会・協議	その他
35件	58件	432件	72件	

計 2,916 件

① 支援調整会議の開催

支援調整会議は、相談者に対する自立支援計画（プラン）の適切性の協議、支援決定、終結時の評価、各支援機関による情報共有等を目的に開催しています。

回	日 程	内 容
第1回	令和2年 4月30日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 ・自立相談支援事業による就労支援の終結 3件 ・家計改善支援事業の決定 3件 ・家計改善支援事業の終結 1件
第2回	6月30日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・家計改善支援事業の決定 3件 ・家計改善支援事業の終結 3件
第3回	8月31日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援事業による就労支援の終結 3件 ・家計改善支援事業の決定 3件
第4回	10月28日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・家計改善支援事業の決定 2件
第5回	12月25日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援事業による就労支援 2件 ・家計改善支援事業の決定 2件
第6回	令和3年 2月26日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援事業による就労支援の終結 1件 ・家計改善支援事業の決定 2件 ・家計改善支援事業の終結 2件

2. 地域支援ネットワークの推進

① 生活困窮者自立支援ネットワーク会議の開催

生活困窮者自立支援ネットワーク会議は、関係機関及び関係者のネットワークを構築し、事業に関する情報共有、地域における支援体制の検討を行い、生活困窮者に対する包括的な支援を効果的に実施することを目的に開催しています。

回	日 程	内 容	出席委員等
第1回	令和2年 8月11日（火）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度事業報告について 2. 令和2年度事業計画について 3. 意見交換 	ネットワーク会議委員 7名 アドバイザー 3名 オブザーバー 2名 事務局 2名 計 14名
第2回	令和3年 2月19日（金）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度生活相談支援センター取り組み状況について 2. ひきこもり支援について 3. 意見交換 	ネットワーク会議委員 7名 アドバイザー 3名 オブザーバー 3名 事務局 2名 計 15名